鴨（かも）と歩む、小郡のこれから。



— 鴨を知る。
— 鴨を味わう。
— 鴨から小郡を知る。

問商工観光課　商工観光グループ　☎73-9103

小郡市に残る、伝統の鴨猟

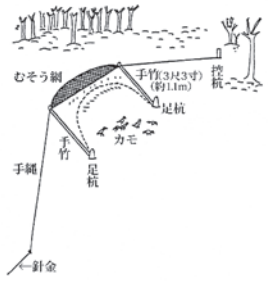
秋の彼岸を過ぎる頃、鴨は寒さを避けて北国から南へと渡り、田園地帯が広がる小郡市に飛来します。

三国地区には江戸時代に久留米藩の御猟場があり、「鴨の飛来地」として名を馳せるほど鴨猟が盛んに行われていました。この時代から続く「無双網猟」は現在も受け継がれており、猟期（11月15日～2月15日）になると、地元の猟師が無双網を使い猟を行っています。

小郡市の鴨猟「無双網猟（むそうあみ）」

幅約2.5メートル、長さ約14メートルの大きな網を使い、ため池や深田などにまいた餌（青米）のそばに網を設置します。何日もかけて餌をまいて鴨を餌付けし、少しずつおびき寄せます。

鴨が餌を食べに来たところを見計らい遠くから針金で手綱を引くと、網が広がって鴨に覆いかぶさる、という仕掛けです。



なぜ、小郡市に鴨がいるの？

現在の大きな住宅団地が開発される前、三国地区は雑木林が生い茂り、多くの沼や沢が点在していました。人もあまり住んでおらず、鴨が安心して過ごすのに適した環境だったようです。また、古くから農業が盛んな小郡市では、農業用水を確保するため、多くのため池が造られていました。ため池は、鴨にとって餌を採ったり休息したりする場所でもありました。

しかし、近年は土地利用の変化に伴って鴨の飛来が減少し、次第に鴨が食卓に上ることも少なくなりました。今では、鴨猟を担う猟師もわずかとなっています。

それでも、冬のため池や宝満川では、今も鴨がゆったりと泳ぐ姿を見ることができます。夕陽に照らされた美しい情景とそこに息づく歴史や文化は、小郡市ならではのものです。



小郡市から生まれた「鴨」の商品

食べる・飲む・贈る。

「鴨」をきっかけに、小郡市の魅力を発信しています。





かもなか。(抹茶・ほうじ茶)

御菓子処やかべ
小郡市大板井1399-1
(☎72-3276)



小郡サブレ

焼菓子工房Galette(ガレット)
小郡市大保1512-3
(☎72-0305)



かもんちゃんプリントクッキー

Patisserie MIGNON(ミニョン)
小郡市祇園一丁目16-8
グリーンハウス1階(☎73-2528)



かもんちゃんパウンドケーキ

仄々(ほのぼの)ごはん
小郡市二森1724-18
(☎25-9083)



ブレンド珈琲「かもの散歩道」

Morrow珈琲
小郡市横隈1664-10
(☎65-7238)



鴨の炭火焼き三色重

イオン小郡ショッピングセンター
小郡市大保110
(☎41-7100)



小郡かもめんべい

小郡市観光協会ほか
小郡市大板井267-4
(☎72-4008)



かもコロ

有限会社岩田屋
小郡市祇園一丁目5-1
(☎72-3039)



さかえや

江崎漬物

炙(あぶ)り鴨味噌明太子

さかえや：小郡市小郡631-5
江崎漬物：小郡市小郡2198-18
(☎090-7538-6421)

鴨のまちプロジェクト

小郡市では、文化庁の「100年フード」に「小郡の鴨を取り巻く食文化」が認定されたことと市制施行50周年を機に、鴨を活用した食文化の継承や新たな特産品開発などに取り組む「鴨のまちプロジェクト」を進めています。

鴨フェア【1月12日(火)～2月14日(日)】

「鴨のまち小郡」の食文化継承の取組として、今年も鴨フェアを開催します。天然鴨から合鴨まで種類豊富な鴨料理を楽しめるのはこの時期だけ！ぜひこの機会にご賞味ください。詳細は、折り込みのパンフレットをご覧ください。